

## 児童養護施設 高 鷲 学 園

### <重点課題>

1. 小規模グループケアの問題点と課題の整理を強め、より良い支援につなげました。第二の地域小規模施設については今年度開設に至りませんでした。
2. 研修計画を系統的に進めるために次年度に向けて研修委員会を立ち上げました。人材育成に結びつけるようなとりくみが今後の課題です。
3. 支援ハンドブックやマニュアルの作成を法人のキャリアパス等を参考にして進めています。
4. 日々の支援に資するようコモンセンス・ペアレンティングやアタッチメントの研修を全体でとりくみました。

### <自主性を高める親切的利用者支援計画>

1. 「子どもの権利ノート」など活用して子どもたちの自らの権利意識を高めるようとりくみました。セカンドステップを実施して暴力防止につなげました。日々の生活で活かされるよう工夫していくことが課題です。
2. 児童自立支援計画に基づいて、個別援助につなげました。
3. 児童の情緒安定のために児童相談所等、関係機関と連携をとりました。「処遇困難事例検討会」でコモンセンス・ペアレンティングを学びました。三施設でのアウトリーチ型研修に参加、アタッチメントについて学習しました。
4. 家族再統合に向けて、各関係機関と連携を深め、家庭支援専門相談員を中心に、子どもにとって最善の方法を検討しました。
5. 子ども自身が主人公の自治活動を行い、各種行事を通して子ども同士の仲間づくり、職員との信頼関係づくりにとりくみました。
6. 生い立ち・進路、性教育、指針・権利擁護、食事委員会を充実させ、職員の研修にもとりくみながら子どもの自立支援の充実を進めました。
7. 食事委員会を中心に「食育活動」にとりくみ、子どもたちの声や食のノートなども参考にしながら食生活の充実をすすめました。
8. 心理治療については心理士と直接指導の現場、児童相談所のケースワーカーとも連携をとりながらとりくみました。
9. 子ども、保護者から寄せられる苦情については丁寧に対応、理解と解決に努めました。第三者評価結果を支援につなげることが課題となっています。
10. 里親支援事業では、里親支援専門相談員を中心に活動の場をひろげました。里親の研修実習も受け入れ、週末里親や養育里親（2名）に結びつけることができました。

### <地域福祉・福祉運動の拡充計画>

1. 第52回「たかわしこどもまつり」を開催しました。今回も大勢の子どもたちで賑わいました。
2. 「子育て短期支援事業」に委託契約した市町村と述べ17受け入れました。
3. 羽曳野市、富田林市の「要保護児童対策地域協議会」に代表者、実務者として参加し

ました。

4. 地域の会議や巡回等にも積極的に参加しました。地域小規模施設では子ども会や自治会の活動にも参加して地域とのつながりを大切にしました。里親制度のとりくみも担当者を中心に開拓がすすんでいます。
5. 近隣・地域の方々との良好な関係づくりに努め、恵我之荘小学校のPTA活動にも参加しました。
6. 広報誌「ほっとほーむ」を年二回発行、ホームページの更新公開にとりくみました。

#### <民主的管理運営計画>

1. 運営会議を定期開催し組織管理体制を再構築しました。パソコンを12台増設し、施設内ネットワークを構築、共有フォルダーによる情報事務処理の効率化を進めました。
2. 支援ハンドブック、マニュアルの作成を進め冊子化しました。
3. 各フロア、部署においてリスク管理を計画的にとりくみました。
4. 虐待防止委員会は次年度の職務分掌で明確に位置づけました。

#### <人材育成・教育研修計画>

1. 今年度は全体研修や他施設との合同研修で専門性や力量を高める努力をしました。
2. 今年度は11名の新任職員を抱え、OJTとのノート等を活用してサポートしました。

#### <財政基盤強化計画>

1. 地域小規模の財政は独立させました。予算が担当者のものであることが課題です。
2. 新たな配置基準により積立金の計上ができました。
3. 企画会議ではそのつど財政状況について確認してきました。

#### <施設整備・事業の拡充計画>

1. 施設内の安全対策として全室に鍵を取り付け、また施設内の鍵を共通化しました。
2. ユニットで食事づくりや、生活会議などもとり入れて家庭的な生活に近づけました。
3. 子ども用自転車を11台購入しました。
4. 備品の故障劣化により、厨房冷凍庫、フロア洗濯機2台、子ども用ベッド3台を買い替え、また各フロアの居間用テレビを2台整備しました。
5. 防犯対策として1階居室部分に面格子取り付けました。

#### <総合社会福祉研究所・「福祉のひろば」普及、発展のために>

1. 購読拡大のための地域周りを複数体制に強めました。
2. 委員会で目標管理をすすめ、取引先や実習生などに積極的に購読を訴えました。
3. 職場内での学習等に福祉のひろばを活用しきれず次年度の課題となっています。

#### <財団後援会の発展のために>

1. 職員一同で早期の目標達成ができました。